

週刊新潮

4月12日号
400円



14

昭和31年2月20日第三種郵便物認可 平成30年4月12日発行(木曜日発行)(4月5日発売)第63巻第14号

注目の名医 72

●スペシャルインタビュー

Special Interview



医療法人 恭青会

いくの眼科

院長

生野 恭司 医師

大阪・十三 ●一人ひとりに寄り添ったオーダーメイド治療で高度医療を提供

網膜硝子体・白内障などの日帰り手術と

近視診療を2本柱に最先端医療を実践する

大阪大学で25年間にわたり網膜硝子体疾患の治療に専念してきた経験から、大学病院と同等の高度最先端医療をもっと身近に提供したいと考え、大阪・阪急十三駅前が開業したのが『いくの眼科』院長の生野恭司医師。「今後もより多くの患者さんの眼を治していきたい」という生野院長に聞いた。

●近視診療と日帰り手術

関西最大のターミナル駅「梅田」からひと駅。東口から30秒という至便の地の開業に長年の大学病院での経験が生かされている。「高齢者の多い眼科は何よりアクセスが大事である」と生野医師。大学病院と同等の検査・治療機器を導入し、最先端の医療技術を要する症例で



大学病院と同等の検査機器類。広角撮影用を含む3台の眼底カメラ他、自ら開発したものを含め光干渉断層計も4台導入している。

も可能な限り日帰り手術で対応す

る。近視診療と日帰り手術を2本柱としたスピーディーで行き届いた診療は、多くの患者を支えている。「二人でも多くの患者さんに視力を取り戻す機会を逃してほしくないの

で、許す限り日帰りの手術で対応しています。目が見えないと行動が制限される。痴呆と思いきいんでいた自分の親が、白内障手術で戻ることもしばしばある。視覚は社会の窓、視力の喪失は、社会からの隔絶を意味します」と生野医師は語る。同院の手術件数は年間1千件を超えている。

●強度近視は様々な病気を併発

「最近の子どもは室内で過ごす時間が多いため、近視が非常に増えています。メガネやコンタクトで矯正すれば大丈夫と考えがちです。しかし近視は怖い病気で、わが国の失明原因の第3位。特に強度近視が問題で様々な病気を併発します。緑内障・網膜剥離・近視性黄斑円孔・脈絡膜新生血管な

ど、最初は自覚症状がほとんどなく、診断が難しいのが厄介です。初期には黒いものが飛ぶ飛蚊症や、視野に光が見える光視症、格子が歪んだり、視野の一部が見えにくいなどの症状が出てきます。おかしいと思ったら眼科を受診しましょう。今では、眼底カメラや光干渉断層計など、さほど負担をかけずに網膜の病気を調べられます。近視の病気が早期に治療すれば視力が維持でき、治る可能性がでてきて、多くの眼科医も近視治療に注目し始めました。特に強度近視の方はその自覚を持つて大切にしてください」

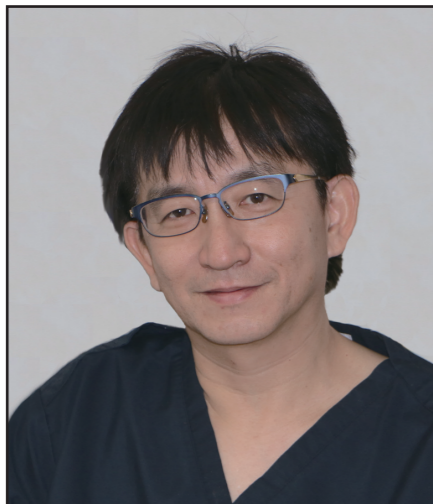
●最先端近視治療を世界へ発信

「治らない病気を治してあげたいという思いは人一倍強いです。その意気込みを維持するのは難しいですが、患者さん一人ひとりがその支えになっています。難しい疾患の患者さんには膨大な情報・知識の集約が必要となりま

ただでなく世界の眼科医療の発展に繋がりますので、時間の許す限り多くの学会で講演しています」

●患者さん本位のチーム医療

同院は「患者さんが安心して治療を受けられるように」高度な手術室や診断機器等のハード面は元より、患者に対する心配りなどのソフト面、ドクターのもとコメディカル一丸となったホスピタリティの向上にも力を注いでいる。また、人材育成には特に力を入れており、定期的な勉強会などでチームとしての知識と技術の習得をいつも心掛けていく。



生野 恭司 (いくの・やすし)

1990年大阪大学医学部卒業。国立大阪病院(現・国立病院機構大阪医療センター)、米国 Harvard 大学 Schepens 眼研究所、大阪大学医学部眼科(講師)、金沢大学医学部眼科(非常勤講師/兼任)等を経て、2015年いくの眼科開設。■日本眼科学会眼科専門医、大阪大学招へい教授(兼任)、金沢大学臨床教授(兼任)。

いくの眼科
https://ikuno-eye.com/

診療 ◆ 午前 9 時 - 12 時 (月~土) 午後 2 時 - 5 時半 (火曜午後、木曜午後) 『手術』も行います ※ 午後の診察で予約がない方は 17 時 15 分に受付を終了します
休診日 ◆ 水・土の午後、日・祝 所在地 ◆ 大阪市淀川区十三東 2 丁目 9-10 十三駅前医療ビル 3 階 アクセス ◆ 阪急「十三」駅東出口より すぐ (徒歩 30 秒)、大阪バス「十三駅東口」バス停下車。徒歩 3 分 電話 ◆ 06-6309-4930

いくの眼科 検索

(※) 手術実績 2016年=1,074件、2017年=1,013件。詳細はホームページ参照。https://ikuno-eye.com/surgery/#surgery02